

2018年6月26日

(2018年10月12日更新)

『フィデューシャリー・デューティー』への取組み (2018年度 取組方針・内容)

ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行、北海道銀行、ほくほくTT証券は、「地域共栄」という経営理念のもと、地域社会・お客さまとともに発展していくために、お客さまの資産運用・資産形成にかかわる業務について、『フィデューシャリー・デューティー』への取組みに関する基本方針のもと、「お客さま本位」の業務運営を行ってまいります。

その活動について、2018年度は、以下の取組方針・内容で取組みを進めておりますので、ご案内いたします。

1. お客さま本位の徹底

	取組方針・内容
北陸銀行 北海道銀行 ほくほくTT証券	<ul style="list-style-type: none"> ● 役職員は「行動規範」および『フィデューシャリー・デューティー』への取組みに関する基本方針に基づく考動を行ってまいります。

2. お客さまの幅広いニーズにお応えできる商品ラインナップの充実

	取組方針・内容
北陸銀行 北海道銀行	<ol style="list-style-type: none"> ① お客さまの資金性格、投資目的、資力やリスク許容度等に応じ、お客さまに商品選択をしていただけるよう、商品ラインナップを見直していきます。 ② 中長期的な資産形成・運用に資する商品のラインナップを充実させていきます。 ③ リスクを抑えた運用を希望されるお客さまのニーズに対応するため、低リスク商品のラインナップを整備していきます。 ④ 少額から資産形成を始めるお客さまがご利用しやすいよう、積立て商品のラインナップを充実させていきます。 ⑤ 商品選択時には、グループ会社の商品に捉われることなく商品を選定し、特にグループ会社の商品を選択する際は、「グループ内取引に関する規定」の手続きに従い利益相反に留意しつつ選定していきます。

	取組方針・内容
ほくほく TT 証券	<p>① お客様の資金性格、投資目的、資力やリスク許容度等に応じ、お客様が商品選択をしていただけるよう、商品ラインナップを見直していきます。</p> <p>② 商品ラインナップには、株式等の市場環境に大きく影響を受けるリスク・リターンの高い商品だけでなく、リスクの低い商品や手数料の低い商品も数多く取り揃え、投資経験の少ないお客様、ご高齢のお客様などお客様が選択しやすいラインナップを整備していきます。</p> <p>③ 商品選定時には、外部評価機関の評価も参考にしながら、お客様にご満足いただける商品を選定していきます。</p> <p>④ グループ会社に当社の商品を提供する際は、「グループ内取引に関する規定」の手続きに従い利益相反に留意しつつ提供していきます。</p>

3. お客様への情報提供の充実

	取組方針・内容
<p>北陸銀行</p> <p>北海道銀行</p>	<p>【商品内容に関する情報提供】</p> <p>① 商品の説明に際しては、お客様の理解度を確認しながら説明するよう努めていきます。</p> <p>② 商品の提案・販売に際しては、お客様の投資に関する知識や経験、財産の状況やお客様が受け入れ可能なリスク、投資の目的などを把握した上で、お客様に商品およびサービスを提案していきます。特にご高齢のお客様や投資に関する知識や経験が十分でないお客様に対しては、リスクを抑えた商品を案内するなど、お客様のニーズに沿った提案を行っていきます。</p> <p>【手数料に関する情報提供】</p> <p>③ お客様の投資判断に資するため、商品ごとの手数料等について、お客様にご理解いただけるように説明してまいります。</p> <p>【投資啓蒙パンフレット・各種セミナー】</p> <p>④ パンフレットなどを活用した情報提供や、お客様向けセミナーの開催などにより、お客様の投資判断に資する情報提供を行っていきます。</p> <p>【運用状況等に関する情報提供】</p> <p>⑤ お客様の運用状況や市場環境などを踏まえた情報提供に努めていきます。</p>

	取組方針・内容
	<p>【グループ全体での情報提供】</p> <p>⑥ お客様のニーズにお応えするため、ほくほくTT証券などグループ会社の機能も活用し、グループ総合力を活かしたコンサルティングに取り組んでいきます。</p>
ほくほくTT証券	<p>【商品内容に関する情報提供】</p> <p>① 商品の説明に際しては、お客様の理解度と商品性に応じて、分かりやすく情報提供を行っていきます。</p> <p>② 商品の提案・販売に際しては、お客様の資産状況、取引経験、知識および取引目的・意向等の観点からニーズをお伺いした上で、お客様に商品およびサービスの提案を行っていきます。</p> <p>③ 複雑またはリスクの高い商品については、社内販売資格保有者のみが勧誘できる体制を構築し、お客様に説明を行っていきます。</p> <p>【手数料に関する情報提供】</p> <p>④ お客様の投資判断に資するため、商品毎の手数料等が何の対価であるかの情報をお客様にご理解いただけるように提供してまいります。</p> <p>【投資啓蒙パンフレット・各種セミナー】</p> <p>⑤ パンフレットなどを活用したお客様への案内や、お客様向けセミナーの開催などによる情報提供を行い、お客様へ投資知識の習得機会を提供します。</p> <p>【運用状況等に関する情報提供】</p> <p>⑥ お客様の運用状況や市場環境などを踏まえた情報提供に努めていきます。</p>

4. お客様本位の提案・販売を行うための組織体制の維持・向上

	取組方針・内容
北陸銀行 北海道銀行	<p>【研修体制・外部資格取得】</p> <p>① 行内外の研修やFP（ファイナンシャル・プランナー）等外部資格の取得推奨や行内資格制度の拡充を通じ、商品や投資環境に関する知識・スキルの強化を図り、人材の育成に努めていきます。</p> <p>【チャンネル】</p> <p>② タブレット端末の活用やインターネットによる照会サービス等により、お客様の利便性向上に努めていきます。</p>

	取組方針・内容
	<p>【業績評価体制】</p> <p>③ お客さまに適切な提案がなされ、お客さまの利益・ニーズに資する営業活動の実践につながるように、業績評価体系の見直しを行っていきます。</p>
<p>ほくほく TT 証券</p>	<p>【研修体制・外部資格取得】</p> <p>① 研修や外部専門資格の取得推奨等を通じ、商品や投資環境に関する知識やスキルの強化を図り、お客さまのニーズに応えられるプロフェッショナルな人材を育成していきます。</p> <p>【チャンネル】</p> <p>② 当社では、インターネット取引や対面取引が利用できます。お客さまのご意向に応じた取引形態を用意しており、幅広い年齢層のお客さまにご利用いただきやすい環境を整備していきます。</p> <p>【業績評価体制】</p> <p>③ お客さまに適切な提案がなされ、お客さまの利益・ニーズに資する営業活動の実践につながるように、顧客基盤の拡大や、預かり資産残高等の継続的な拡大を評価する業績評価体系を導入していきます。</p>

<参考> 取組参考指標（2018年3月末現在）

北陸銀行	2016年度末	2017年度末
①積立型投資信託契約者数	6,195 先	10,260 先
②NISA利用者数	21,077 先	24,020 先
③ファイナンシャルプランナー（FP）資格取得者数	1,006 人	1,207 人
④投資信託の販売上位10銘柄	次ページに記載	

※「NISA利用者数」: お取引残高が1円以上の利用者数

※FP資格範囲: FP技能士1級・2級、AFP

北海道銀行	2016年度末	2017年度末
①積立型投資信託契約者数	9,598 先	13,212 先
②NISA利用者数	9,265 先	11,685 先
③ファイナンシャルプランナー（FP）資格取得者数	1,030 人	1,105 人
④投資信託の販売上位10銘柄	次ページに記載	

※「NISA利用者数」: お取引残高が1円以上の利用者数

※FP資格範囲: FP技能士1級・2級、AFP

ほくほくTT証券	2017年5月末	2017年度末
①NISA利用者数	1,497 先	1,482 先
②NISA利用残高	1,478 百万円	1,632 百万円
③ファイナンシャルプランナー（FP）・証券アナリスト資格取得者数	FP技能士1・2級58名 CFP・AFP 40名 証券アナリスト 2名	FP技能士1・2級66名 CFP・AFP 45名 証券アナリスト 3名
④顧客向けセミナー開催数・参加者数	<開業後5か月間> 13回 / 延べ278人参加	<1年間> 38回 / 延べ626人参加
⑤投資信託の販売上位10銘柄	次ページに記載	

※「NISA利用者数」: お取引残高が1円以上の利用者数

「投資信託の販売上位10銘柄」

① 北陸銀行

【2016年度】

順位	ファンド名	運用会社名	決算周期
1	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント	毎月
2	MHAM J-REIT インデックスファンド（毎月決算型）	アセットマネジメントOne	毎月
3	MHAM株式インデックスファンド225	アセットマネジメントOne	年1回
4	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	フィデリティ投信	毎月
5	米国地方債ファンド2016-07（為替ヘッジあり）	アセットマネジメントOne	年2回
6	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	年1回
7	日系企業外貨建て社債ファンド（為替ヘッジあり）2016-09	三井住友アセットマネジメント	年2回
8	ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテック	大和証券投資信託委託	年2回
9	ニッセイ日本インカムオープン	ニッセイアセットマネジメント	毎月
10	のむらっぴ・ファンド（保守型）	野村アセットマネジメント	年1回

② 北海道銀行

【2016年度】

順位	ファンド名	運用会社名	決算周期
1	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント	毎月
2	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	東京海上アセットマネジメント	毎月
3	東京海上・ニッポン世界債券ファンド（為替ヘッジあり）	東京海上アセットマネジメント	毎月
4	ひふみプラス	レオス・キャピタルワークス	年1回
5	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	東京海上アセットマネジメント	年1回
6	BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（毎月決算型）	ペアリングス・ジャパン	毎月
7	みずほUSハイイールドオープンBコース	アセットマネジメントOne	毎月
8	ダイワ日本国債ファンド（毎月分配型）	大和証券投資信託委託	毎月
9	コーポレート・ボンド・インカム（為替ノーヘッジ型）	三井住友アセットマネジメント	毎月
10	インデックスファンド225	日興アセットマネジメント	年2回

【2017年度】

順位	ファンド名	運用会社名	決算周期
1	ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテック	大和証券投資信託委託	年2回
2	グローバルAIファンド	三井住友アセットマネジメント	年1回
3	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	年1回
4	MHAM株式インデックスファンド225	アセットマネジメントOne	年1回
5	高成長インド・中型株式ファンド	三井住友アセットマネジメント	年4回
6	グローバル・フィンテック株式ファンド	日興アセットマネジメント	年1回
7	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	ピクテ投信投資顧問	毎月
8	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	東京海上アセットマネジメント	毎月
9	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント	毎月
10	のむらっぴ・ファンド（普通型）	野村アセットマネジメント	年1回

【2017年度】

順位	ファンド名	運用会社名	決算周期
1	ひふみプラス	レオス・キャピタルワークス	年1回
2	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	東京海上アセットマネジメント	毎月
3	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	野村アセットマネジメント	毎月
4	LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	レグ・メイソン・アセットマネジメント	毎月
5	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	日興アセットマネジメント	年2回
6	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	ピクテ投信投資顧問	年2回
7	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント	毎月
8	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	東京海上アセットマネジメント	年1回
9	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	日興アセットマネジメント	年1回
10	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	ピクテ投信投資顧問	毎月

③ ほくほくTT証券

【2016年度（2017年1月～3月）】

順位	ファンド名	運用会社名	決算周期
1	ニッセイグローバル好配当株式プラス（毎月決算型）	ニッセイアセットマネジメント	毎月
2	ニッセイオーストラリア利回り資産ファンド（毎月決算型）	ニッセイアセットマネジメント	毎月
3	ピクテ・バイオ医薬品ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	ピクテ投信投資顧問	毎月
4	アメリカン・ニュー・ステージ・オープン	三菱UFJ国際投信	年4回
5	T&Dインド中小型株ファンド	T&Dアセットマネジメント	年2回
6	東京海上・米国政策関連株式ファンド（為替ヘッジなし）	東京海上アセットマネジメント	年4回
7	LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	レグ・メイソン・アセット・マネジメント	毎月
8	通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース（毎月分配型）	大和住銀投信投資顧問	毎月
9	通貨バスケット選択型グローバル・ハイイールド債券ファンド（BRICs通貨コース）	大和住銀投信投資顧問	毎月
10	アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・インカム・ポートフォリオ	アライアンス・バーンスタイン	毎月

【2017年度】

順位	ファンド名	運用会社名	決算周期
1	USバイオ・ベンチャー（限定追加型）	ハイビュー・アセット・マネジメント	年1回
2	ニッセイグローバル好配当株式プラス（毎月決算型）	ニッセイアセットマネジメント	毎月
3	ニッポン中小型株ファンド	大和住銀投信投資顧問	年1回
4	J-Stockアクティブオープン	大和住銀投信投資顧問	年1回
5	通貨選択型エマージング・ボンド・ファンド・トルコリラコース（毎月分配型）	大和住銀投信投資顧問	毎月
6	ピクテ・バイオ医薬品ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	ピクテ投信投資顧問	毎月
7	ベトナム株ファンド	大和証券投資信託委託	年2回
8	T&Dインド中小型株ファンド	T&Dアセットマネジメント	年2回
9	アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・インカム・ポートフォリオ	アライアンス・バーンスタイン	毎月
10	netWIN ゴールドマン・サックス・インターネット戦略ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	年2回

「投資信託・ファンドラップの運用損益別のお客さま割合」(2018年3月末現在) 共通 KPI

お客さまにご購入いただいた投資信託・ファンドラップの運用損益状況について、損益区分ごとのお客さまの割合をグラフ化しております。

【投資信託】



【ファンドラップ】



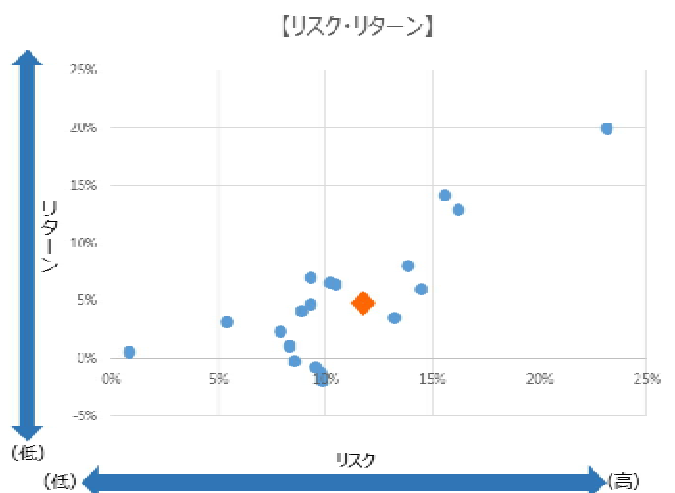
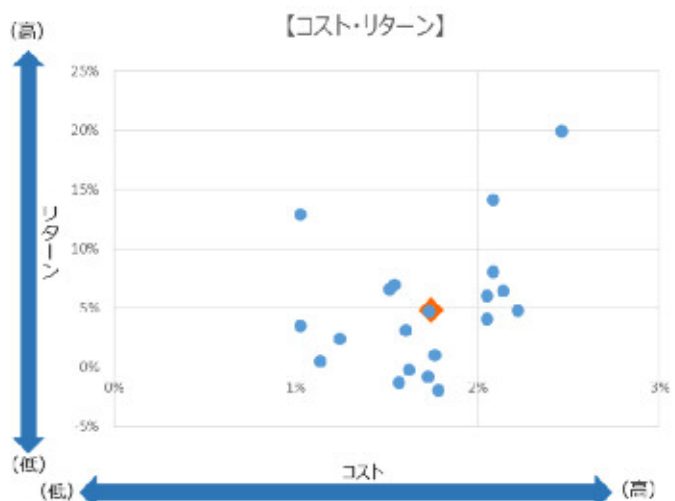
＜算出方法＞

- 基準日時点で投資信託およびファンドラップを保有している個人のお客さまを対象とし、投資信託のトータルリターン通知制度に基づくトータルリターンを基準日時点の評価金額で除して算出。(ETF、上場 REIT、公社債投信、私募投信、確定拠出年金で買い付けた投資信託は含まず)
- 外貨建て投資信託の評価は、基準日時点の三菱 UFJ 銀行が提示する公示レートを適用して算出。

「投資信託の預かり資産残高上位 20 銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン」(2018 年 3 月末現在) **共通 KPI**

お客さまにご購入いただいた投資信託の残高上位 20 銘柄について、コストやリスクに対するリターンをグラフ化しています。

① 北陸銀行



※ ◆は預かり資産残高上位 20 銘柄 残高加重平均値

【投資信託の預かり資産残高上位20銘柄】

	銘柄名	運用会社
1	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント
2	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	アセットマネジメントOne
3	ニッセイ高金利国債債券ファンド	ニッセイアセットマネジメント
4	MHAM株式インデックスファンド225	アセットマネジメントOne
5	世界銀行債券ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント
6	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	ピクテ投信投資顧問
7	フィデリティ・U Sハイ・イールド・ファンド	フィデリティ投信
8	三菱UFJ豪ドル債券インカムオープン	三菱UFJ国際投信
9	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	ニッセイアセットマネジメント
10	DIAM パッシブ資産分散ファンド	アセットマネジメントOne
11	DIAMグローバル・ボンド・ポート 毎月決算コース2	アセットマネジメントOne
12	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	日興アセットマネジメント
13	フィデリティ・ワールド好配当株・ファンド	フィデリティ投信
14	のむらび・ファンド(普通型)	野村アセットマネジメント
15	DIAM グローバル・アクティブ・バランスファンド	アセットマネジメントOne
16	ニッセイ日本インカムオープン	ニッセイアセットマネジメント
17	ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月分配型)	大和証券投資信託委託
18	トレンド・アロケーション・オープン	三菱UFJ国際投信
19	高成長インド・中型株式ファンド	三井住友アセットマネジメント
20	フィデリティ・日本成長株・ファンド	フィデリティ投信

【残高加重平均値】

コスト	1.75%
リターン	4.75%
リスク	11.78%

残高上位 20 銘柄の平均コストは 1.75%、平均リスクは 11.78%に対し、平均リターンは 4.75%となっています。(期間：2013 年 3 月末～2018 年 3 月末の過去 5 年間)

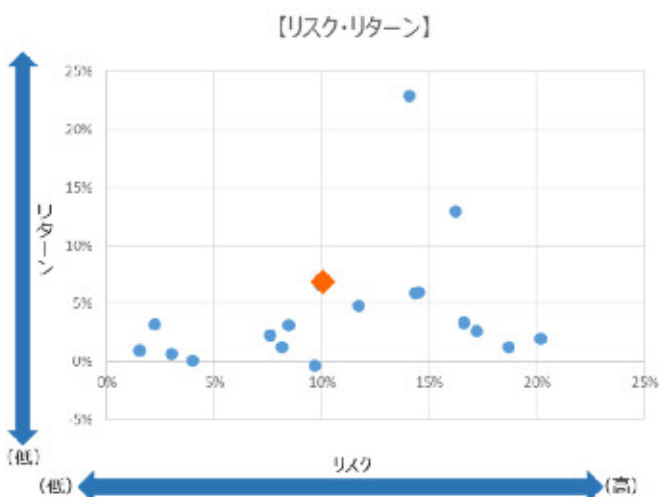
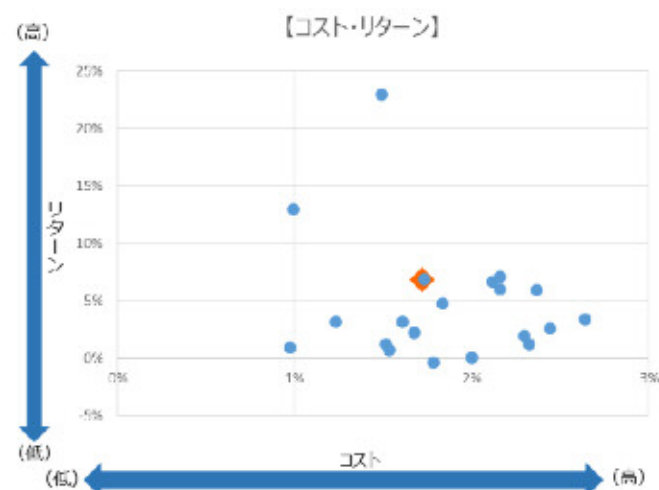
＜対象銘柄＞預かり資産残高 20 銘柄(設定後 5 年以上)

(DC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除き、単位型は含む)

＜算出方法＞リターン：過去5年間のトータルリターン(年率換算)、リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)、コスト：販売手数料率の 1/5 と信託報酬率の合計。

※上記数値は過去の実績であり、将来における投資信託のリターン、リスクをお約束するものではありません。

② 北海道銀行



※ ◆は預かり資産残高上位 20 銘柄 残高加重平均値

【投資信託の預かり資産残高上位20銘柄】

	銘柄名	運用会社
1	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント
2	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	東京海上アセットマネジメント
3	ひふみプラス	レオス・キャピタルワークス
4	タイワ日本国債ファンド（毎月分配型）	大和証券投資信託委託
5	フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)	フィデリティ投信
6	L M・オーストラリア毎月分配型ファンド	レグ・メイソン・アセット・マネジメント
7	L Mグローバル・プラス（毎月分配型）	レグ・メイソン・アセット・マネジメント
8	パン・パシフィック外国債券オープン	明治安田アセットマネジメント
9	B A Mワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（毎月決算型）	ベアリングス・ジャパン
10	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	ビクテ投信投資顧問
11	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	野村アセットマネジメント
12	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	三菱UFJ国際投信
13	インデックスファンド2 2 5	日興アセットマネジメント
14	L M・ブラジル国債ファンド（毎月分配型）	レグ・メイソン・アセット・マネジメント
15	ビクテ新興国インカム株式ファンド（毎月決算型）	ビクテ投信投資顧問
16	みずほUSハイイールドオープンBコース	アセットマネジメントOne
17	コーポレート・ボンド・インカム(為替ノーヘッジ型)	三井住友アセットマネジメント
18	D I A M新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<レアルコース>	アセットマネジメントOne
19	L M・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	レグ・メイソン・アセット・マネジメント
20	東京海上・ニッポン世界債券ファンド（為替ヘッジあり）	東京海上アセットマネジメント

【残高加重平均値】

コスト	1.72%
リターン	6.82%
リスク	10.04%

残高上位 20 銘柄の平均コストは **1.72%**、平均リスクは **10.04%**に対し、平均リターンは **6.82%**となっています。（期間：2013年3月末～2018年3月末の過去5年間）

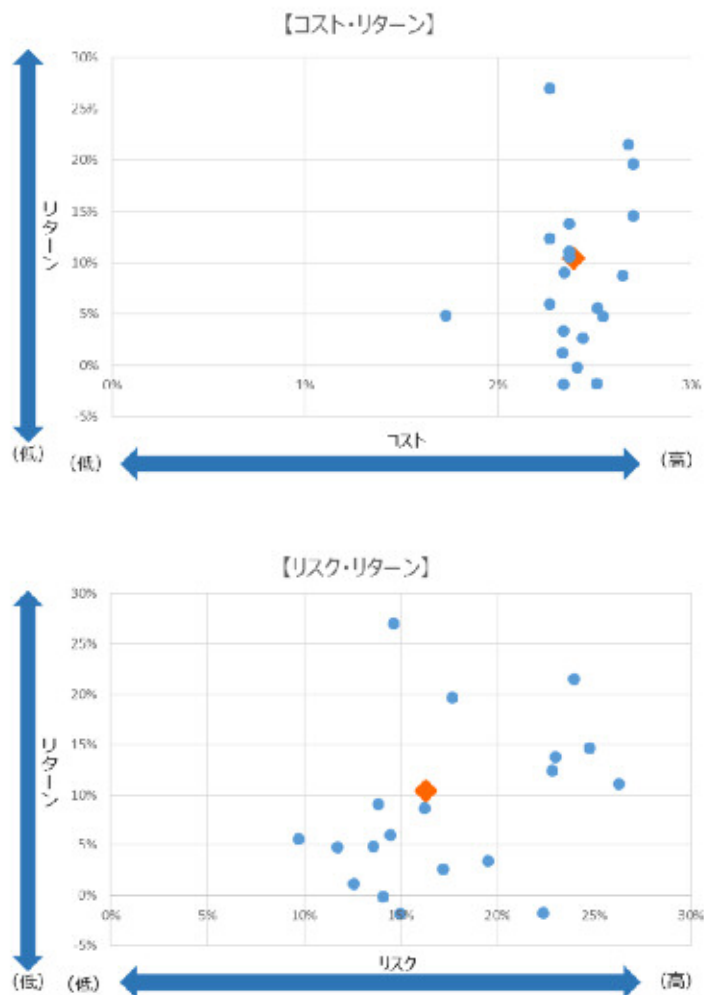
＜対象銘柄＞預かり資産残高 20 銘柄（設定後 5 年以上）

（DC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除き、単位型は含む）

＜算出方法＞リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）、リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）、コスト：販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計。

※上記数値は過去の実績であり、将来における投資信託のリターン、リスクをお約束するものではありません。

③ ほくほくTT証券



※ ◆は預かり資産残高上位 20 銘柄 残高加重平均値

【投資信託の預かり資産残高上位20銘柄】

	銘柄名	運用会社
1	ニッセイグローバル好配当株式プラス（毎月決算型）	ニッセイアセットマネジメント
2	J - S t o c k アクティブ・オープン	大和住銀投信投資顧問
3	イマージング・ボンド・ファンド・トルコリラコース（毎月分配型）	大和住銀投信投資顧問
4	ビクテ・バイオ医薬品ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	ビクテ投信投資顧問
5	日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	大和住銀投信投資顧問
6	日本株厳選ファンド・円コース	大和住銀投信投資顧問
7	ラサール・グローバル R E I T ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント
8	T & D インド中小型株ファンド	T&Dアセットマネジメント
9	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	ビクテ投信投資顧問
10	ニッセイオーストラリア利回り資産ファンド（毎月決算型）	ニッセイアセットマネジメント
11	n e t W I N ゴールドマン・サックス・インターネット戦略ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
12	G S アジア・ハイ・イールド債券ファンド 米ドルコース	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
13	アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（トルコリラコース）	アムンディ・ジャパン
14	イーストスプリング・インドネシア株式オープン	イーストスプリング・インベストメンツ
15	J - R E I T ・リサーチ・オープン（毎月決算型）	三井住友トラスト・アセットマネジメント
16	L M ・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配型）	レッグ・メイソン・アセット・マネジメント
17	T & D アジア・ダブルプレミア・ファンド	T&Dアセットマネジメント
18	G S 日本株・プラス（通貨分散コース）	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
19	イマージング・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース（毎月分配型）	大和住銀投信投資顧問
20	日本株厳選ファンド・アジア3 通貨コース	大和住銀投信投資顧問

【残高加重平均値】

コスト	2.39%
リターン	10.44%
リスク	16.28%

残高上位 20 銘柄の平均コストは 2.39%、平均リスクは 16.28%に対し、平均リターンは 10.44%となっています。（期間：2013年3月末～2018年3月末の過去5年間）

＜対象銘柄＞預かり資産残高 20 銘柄（設定後 5 年以上）

（DC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除き、単位型は含む）

＜算出方法＞リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）、リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）、コスト：販売手数料率の 1/5 と信託報酬率の合計。

※上記数値は過去の実績であり、将来における投資信託のリターン、リスクをお約束するものではありません。

以 上